

いるまの企業
プチ自慢

第24回
帝都ゴム(株)

新光235番地
☎2932-1211

設立 昭和18年10月

<http://www.teito-rubber.co.jp/>

私たちの会社は、昭和6（1931）年に東京都池袋で創業したゴムホース専門メーカーです。創業当時は、農耕用布巻ホースや軍艦用伝声管、軟式野球公認ボールの製造・販売を行っていました。昭和18年に帝都ゴム製造(株)として法人化してから、今年で75年という歴史があります。入間市に進出したのは昭和42年で、新光地区に埼玉工場を新設しました。現在の社名である帝都ゴム(株)には昭和62年に改名し、現在に至ります。生産



埼玉工場（入間市）

拠点は、国内には埼玉工場と九州工場（大分県宇佐市）、海外には中国福建省福州市にあります。また、近年は海外での生産拡大を図るため、タイやインド、メキシコへの進出も視野に入れ事業を展開しています。

農耕用布巻ホースなどの製造・販売からスタートした当社ですが、現在は自動車のラジエーターホース等の水系ホースを主力に生産しています。当社のホースは自動車のエンジンに付いているものが多く、車のボンネットを開けないと見えませんが、自動車にとつてはなくてはならない部品であり、黒子のような存在といえます。先行きが見えない世の中ですが、モノ造り改革や業務の効率化、生産性の向上、徹底したロスの排除など、安定した収益確保に向けて日々「スピード・コミュニケーション・チームプレイ」を合言葉に取り組んでいます。



自動車用ゴムホース

当社の誇りは、ゴムとゴムの間に布が入った中補強ホースの一体化ができる「TS工法」を開発・導入したことです。工程を簡略化し、ホースの量産化が実現可能なこの技術は、特許も取得しています。これまでに私たちは、国内外のホースメーカーにこの技術の実施権や技術援助を提供し、業界の発展に貢献してきました。これからも入間市工業会や入間市商工会などの活動にも積極的に参加しながら、自動車産業で培ってきたノウハウを生かし、社会貢献に努めていきます。